

## 第2期朝来市創生総合戦略事業評価指標(KPI)達成状況

### 基本目標1 自分らしく生き生きと活躍する「ひと」づくり

#### ◆ASAGOINGな人を育む

#### ◎市民一人一人が自分らしく生き生きと活躍しながら「まち」とつながるASAGOINGな人づくり

成果指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
朝来市が好きだと思ふ生徒の割合(中学3年生アンケート調査)	87.0% (R1アンケート調査)	89.0% (R3年5月調査)	80.6% (R4年5月調査)	84.9% (R5年5月調査)	—	90.0%	学校教育課
住んでいる地域に愛着や誇りを持つ市民の割合(市民アンケート調査)	62.8% (R1アンケート調査)	63.8% (R3年5月調査)	70.0% (R4年5月調査)	66.6% (R5年5月調査)	—	65.0%	総合政策課

成果達成に向けた活動指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
学校運営協議会を導入し、地域と連携した学校・地域の課題解決や活動した学校の割合	小学校 22.2% 中学校 0%	小学校100% 中学校100%	小学校100% 中学校100%	小学校100% 中学校100%	—	小学校 100.0% 中学校 100.0%	学校教育課
「地域行事に参加した」児童生徒の割合	小学校 65.7% 中学校 33.9%	—	小学校78.4% 中学校70.2% (R3)	小学校75.9% 中学校64.3% (R4)	—	小学校 75.0% 中学校 55.0%	学校教育課
区の地域活動に参加した市民の割合(市民アンケート調査)	69.7% (R1アンケート調査)	52.6% (R3年5月調査)	45.1% (R4年5月調査)	53.5% (R5年5月調査)	—	75.0%	市民協働課

◎市民一人一人が好きなこと・得意なことなどを地域社会で発揮し多様な活動を促進するひとづくり

成果指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
自らの知識や経験を地域社会活動に活かしている市民の割合(市民アンケート調査)	28.7% (R1アンケート調査)	25.8% (R3年5月調査)	25.0% (R4年5月調査)	26.2% (R5年5月調査)	—	32.0%	市民協働課

成果達成に向けた活動指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
地域づくりの学びの場開催回数	5回/年 (R1年度)	6回/年 (R2)	5回/年 (R3)	6回/年 (R4)	—	5回/年	市民協働課
地域自治協議会の参画人数	1,671人 (H30年度)	1,698人 (R2)	1,385人 (R3)	1,332人 (R4)	コロナ禍において事業・会議数の減少のほか、事業を実施した場合においても参加人数を絞っており、参加する機運の復調にまでは至っていないため。	1,850人	市民協働課

◆ASAGOiNGな仲間づくり

◎移住・定住の促進や関係人口の創出・拡大によるASAGOiNGな仲間づくり

成果指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
朝来市に住み続けたいと思う市民の割合（市民アンケート調査）	65.4% (R1アンケート調査)	68.7% (R3年5月調査)	67.6% (R4年5月調査)	64.4% (R5年5月調査)	朝来市に住み続けたいと思う市民の割合は、住んでいる地域に愛着や誇りを持つ市民の割合と相関関係を持っているが、新たな取組が少なく、多様な市民ニーズに対応した多様な学びの場づくりが不足していると考えられる。	70.0%	総合政策課
朝来市の移住支援制度を利用して転入した人数	566人 (H26～H30年度)	838人 (R26～H2)	927人 (R26～H3)	1,032人 (H26～R4)	—	1,250人（累計） (H26～R6年度)	市民協働課

成果達成に向けた活動指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
移住相談件数（過去5年間の平均値）	194件/年 (H26～H30年度平均)	312件/年 (H28～R2平均)	393件/年 (H29～R3平均)	487件/年 (H30～R4平均)	—	200件/年 (R2～R6年度平均)	市民協働課
体験・移住交流プログラム件数	5件/年 (H30年度)	4件/年 (R2)	4件/年 (R3)	9件/年 (R3)	—	6件/年	市民協働課 農林振興課

◎結婚を希望する人の出会いの機会の創出

成果指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
婚姻数(兵庫県人口動態調査)	151組/年 (H30年度)	110組/年 (R1)	92組/年 (R2)	85組/年 (R3)	コロナ禍による出会いの機会の減少などにより、全国的に婚姻数が減少しているため	150組/年	市民協働課

成果達成に向けた活動指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
婚活イベントの開催回数	6回/年 (R1年度)	7回/年 (R2)	4回/年 (R3)	9回/年 (R4)	—	7回/年	市民協働課

◎移住者や在住外国人などの地域の受入れ体制の充実

成果指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
居住年数10年未満の市民で 朝来市が住みやすいと思っ ている市民の割合 (市民ア ンケート調査)	62.8% (R1アンケート調査)	60.5% (R3年5月調査)	65.9% (R4年5月調査)	59.9% (R5年5月調査)	移住年数が短いほど割合が低く、コロナ禍 の最中に移住した方は、早い段階から相談 等ができるような、地域等との安心できる 繋がりが作りにくかったためと思われる。	70.0%	市民協働課

成果達成に向けた活動指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
移住者交流会実施回数	2回/年 (H30年度)	1回/年 (R2)	0回/年 (R3)	0回/年 (R4)	大人数が集まることが予想され、行動制限 が継続している中での開催を見送ったた め。	3回/年	市民協働課
居住年数10年未満の市民で 区の活動に参加した市民の 割合 (市民アンケート調 査)	50.0% (R1アンケート調査)	44.4% (R3年5月調査)	36.6% (R4年5月調査)	47.6% (R5年5月調査)	—	55.0%	市民協働課

◆一人一人の行動につなげる情報発信

◎一人一人の行動につなげる情報発信の充実

成果指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
家族や友だちに朝来市への移住を勧めたいと思う市民の割合(市民アンケート調査)	37.9% (R1アンケート調査)	37.1% (R3年5月調査)	36.8% (R4年5月調査)	33.8% (R5年5月調査)	家族や友達に朝来市への移住を勧めたいと思う市民の割合は、住んでいる地域に愛着や誇りを持つ市民の割合と相関関係を持っているが、新たな取組が少なく、多様な市民ニーズに対応した多様な学びの場づくりが不足していると考えられる。	45.0%	総合政策課
自らの知識や経験を地域社会活動に活かしている市民の割合(市民アンケート調査) [再掲]	28.7% (R1アンケート調査)	25.8% (R3年5月調査)	25.0% (R4年5月調査)	26.2% (R5年5月調査)	—	32.0%	市民協働課

成果達成に向けた活動指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
市SNSアカウントによる発信回数	325回/年 (H30年度)	266回/年 (R2)	513回/年 (R3)	353回/年 (R4)	全てのSNSの発信数は前年に比べて減少しており、各課担当職員の情報発信に対する意識に委ねられているところがある。	580回/年	総合政策課
情報発信に係る講座開催回数	0回/年 (H30年度)	1回/年 (R2)	1回/年 (R3)	3回/年 (R4)	—	2回/年	市民協働課

基本目標2 魅力ある多様な「しごと」づくり

◆内発的な経済成長

◎市内企業で働く人材の確保

成果指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
市内事業所への新卒就業者数 (抽出:就活サポートブック掲載企業のうち製造業、建設業、福祉事業31社)	56人/年 (H29年度)	59人/年 (R2)	55人/年 (R3)	59人/年 (R4)	—	60人/年	経済振興課

成果達成に向けた活動指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
ジョブサポあさご求職相談件数	15人/年 (H30年度)	15人/年 (R2)	8人/年 (R3)	7人/年 (R4)	コロナ禍における市内求人活動の停滞による。	17人/年	経済振興課
合同企業説明会参加者数	109人/年 (H30年度)	167人/年 (R2)	119人/年 (R3)	44人/年 (R4)	都市部での採用活動の活発化や、少子化に伴う新卒者の減少に伴い、但馬での合同企業説明会への参加者が減少している。	110人/年	経済振興課
大学生・高校生・中学生等の仕事体験受入事業数(しごとゼミ、トライやるウィーク等)	126事業所/年 (R1年度)	100事業所/年 (R2)	107事業所/年 (R3)	103事業所/年 (R4)	児童生徒数の減及びコロナ禍により受入事業所数が減少した。	130事業所/年	経済振興課

◎市内企業等の稼ぐ力の向上

成果指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
創業件数	11件/年 (H30年度)	3件/年 (R2)	7件/年 (R3)	7件/年 (R4)	—	60件(累計) (R2～R6年度)	経済振興課

成果達成に向けた活動指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	変更前	担当課
		R2	R3	R4		目標値(R6)	
あさご元気産業創生センター相談件数	51件/年 (H30年度)	131件/年 (R2)	128件/年 (R3)	133件/年 (R4)	—	60件/年	経済振興課
起業セミナー(創業塾)参加者数	28人/年 (R1年度)	18人/年 (R2)	13人/年 (R3)	24人/年 (R4)	—	20人/年	経済振興課

◎誰もが安心して希望に応じたやりがいのある働き方の実現

成果指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
朝来市内女性就業者比率 (国勢調査) (女性の生産年齢人口の就業者数/女性の生産年齢人口)	68.8% (H27国勢調査)	-	74.2% (R2国勢調査)	-	—	70.8% (R7国勢調査)	経済振興課

成果達成に向けた活動指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
多様な働き方を推進するための事業所向けセミナー開催回数	1回/年 (R1年度)	1回/年 (R2)	2回/年 (R3)	2回/年 (R4)	—	1回/年	経済振興課
働き方改革や多様な働き方を推進するセミナー参加事業所数	10事業所/年 (R1年度)	8事業所/年 (R2)	23事業所/年 (R3)	21事業所/年 (R4)	—	12事業所/年	経済振興課
放課後児童クラブ・放課後子ども教室設置数	11施設 (R1年度)	11施設 (R2)	12施設 (R3)	12施設 (R4)	—	12施設	こども育成課
病児保育設置箇所数(病児対応型・病後児対応型)	2施設 (R1年度)	2施設 (R2)	1施設 (R3)	2施設 (R4)	—	3施設	こども育成課

◆交流人口拡大による経済循環活動の促進  
 ◎朝来市の強みを生かした観光誘客の推進

成果指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
観光入込客数（観光動態調査）	2,278千人/年 (H30年度)	1,451千人/年 (R2)	1,492千人/年 (R3)	1,881千人/年 (R4)	—	2,572千人/年	観光交流課

成果達成に向けた活動指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	変更前	担当課
		R2	R3	R4		目標値(R6)	
体験型観光プログラム数	30件 (R1年度)	31件 (R2)	31件 (R3)	31件 (R4)	—	42件	観光交流課
朝来市観光ポータルサイト 閲覧ユーザー数	176,665ユーザー/年 (H30年度)	282,149ユーザー/年 (R2)	215,230ユーザー/年 (R3)	252,322ユーザー/年 (R4)	—	249,000ユーザー/年	観光交流課
各種メディアでの情報発信 回数	229回/年 (H30年度)	296回/年 (R2)	288回/年 (R3)	303回/年 (R4)	—	290回/年	観光交流課

◎観光客一人当たりの観光消費額の拡大

成果指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
一人当たりの観光消費額	3,527円 (R1年度)	4,368円 (R2)				3,836円	観光交流課
一人当たりの観光消費額 (市内宿泊あり)	14,117円 (H29年度)		17,705円 (R3)	16,900円 (R4)	旅行支援による宿泊費等の軽減につながったと考えられる。	16,567円 (R6)	観光交流課
一人当たりの観光消費額 (市内宿泊なし)	2,590円 (H29年度)		2,345円 (R3)	4,850円 (R4)	—	2,807円 (R6)	観光交流課

成果達成に向けた活動指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	変更前	担当課
		R2	R3	R4		目標値(R6)	
延べ宿泊者数	112,770人/年 (H30年度)	58,455人/年 (R2)	75,432人/年 (R3)	104,871人/年 (R4)	—	133,000人/年	観光交流課
観光ガイド登録者数	53人 (H30年度)	51人 (R2)	49人 (R3)	48人 (R4)	登録ガイドの引退により減少があった。	60人	観光交流課

◎インバウンド観光の推進

成果指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
インバウンド来訪客数	10千人/年 (H30年度)	0.6千人/年 (R2)	0.4千人/年 (R3)	1.5千人/年 (R4)	—	23千人/年	観光交流課

成果達成に向けた活動指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	変更前	担当課
		R2	R3	R4		目標値(R6)	
朝来市多言語サイト「Visit Asago」の閲覧ユーザー数	2,651ユーザー (R1年11月)	8,370ユーザー/年 (R2)	6,846ユーザー/年 (R3)	8,068ユーザー/年 (R4)	—	10,000ユーザー	観光交流課

◆儲ける農林畜産業への転換  
◎農林畜産業の担い手の確保・育成

成果指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	変更前	担当課
		R2	R3	R4		目標値(R6)	
認定農業者数	29人 (R1年度)	32人 (R2)	34人 (R3)	35人 (R4)	—	44人	農林振興課
市研修制度を活用した新規就農者数	18人 (H28～R1年度)	20人 (H28～R2)	25人 (H28～R3)	28人 (H28～R4)	—	50人(累計) (H28～R6年度)	農林振興課
新たに農業に携わる女性の数	—	14人	17人	18人	—	100人(累計) (R2～R6年度)	農林振興課

成果達成に向けた活動指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
就業希望者向けイベント出展回数	8回/年 (R1年度)	3回/年 (R2)	1回/年 (R3)	0回/年 (R4)	コロナの影響により、イベント出展が出来なかった。	13回/年	農林振興課
小・中学校での農林畜産業体験回数(1校あたり年間実施回数)	0.92回/校・年 (R1年度)	0.92回/校・年 (R2)	0.92回/校・年 (R3)	0.92回/校・年 (R4)	—	2回/校・年	農林振興課
農業経営セミナー開催数	0回/年 (R1年度)	2回/年 (R2)	7回/年 (R3)	6回/年 (R4)	—	3回/年	農林振興課

◎農業所得の向上に向けた取組の推進

成果指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
朝来市全体の農業収入額	11.6億円 (H30年度)	11.2億円 (R2)	10.5億円 (R3)	10.7億円 (R4)	—	13.0億円	農林振興課

成果達成に向けた活動指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	変更前	担当課
		R2	R3	R4		目標値(R6)	
道の駅農産物販売額	327,839千円 (H30年度)	274,249千円 (R2)	310,815千円 (R3)	292,708千円 (R4)	梅雨時期の雨不足、7月から8月にかけての高温・乾燥の影響による収量の減少が考えられる。	367,180千円	農林振興課 (観光交流課)
学校給食への地元食材供給率	36.0% (H30年度)	38% (R2)	41% (R3)	37% (R4)	梅雨時期の雨不足、7月から8月にかけての高温・乾燥の影響による収量の減少が考えられる。	50.0%	農林振興課
有機JAS、GAP、HACCP取得農業者数	2人 (H30年度)	2人 (R2)	2人 (R3)	2人 (R4)	—	17人	農林振興課

◎生産量拡大や作業負担軽減・低コスト化に向けた新たな農林畜産業の推進

活動指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
大規模ビニールハウス設置数	40棟 (H30年度)	47棟 (R2)	51棟 (R3)	53棟 (R4)	—	60棟	農林振興課
大学・企業等研究機関と連携した新技術導入研究件数	0件/年 (R1年度)	0件/年 (R2)	1件/年 (R3)	1件/年 (R4)	—	1件/年	農林振興課

◎森林の利活用の推進

成果指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	変更前	担当課
		R2	R3	R4		目標値(R6)	
素材生産量(兵庫県林業統計書) (市内山林での立木を伐採し丸太にして販売した生産量)	15,789m <sup>3</sup> /年 (H29県林業統計書)	15,682m <sup>3</sup> /年 (R元県林業統計書)	16,844m <sup>3</sup> /年 (R2県林業統計書)	23,479m <sup>3</sup> /年 (R3県林業統計書)	—	18,000m <sup>3</sup> /年	農林振興課

成果達成に向けた活動指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
林業労働者数(兵庫県林業統計書)	55人 (H29県林業統計書)	52人 (R元県林業統計書)	48人 (R2県林業統計書)	50人 (R3県林業統計書)	—	65人	農林振興課
私有林整備面積	40ha/年 (R1年度)	51ha/年 (R2)	57ha/年 (R3)	104ha/年 (R4)	—	80ha/年	農林振興課
未利用材搬出量	5,560t/年 (H30年度)	6,502t/年 (R2)	4,030t/年 (R3)	3,831t/年 (R4)	生野バイオマス発電所の休止を受け、搬出量が減少した。	8,000t/年	農林振興課

基本目標3 誰もが希望を持ち、心豊かに安心して暮らせる「まち」づくり  
 ◆地域コミュニティを基盤とした誰にも居場所と役割のあるまちづくり  
 ◎地域特性を生かした地域の主体的なまちづくりの推進

成果指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
地域自治協議会の参画人数 〔再掲〕	1,671人 (H30年度)	1,698人 (R2)	1,385人 (R3)	1,332人 (R4)	コロナ禍において事業展開ができなかったため	1,850人	市民協働課
自らの知識や経験を地域社会活動に活かしている市民の割合(市民アンケート調査)〔再掲〕	28.7% (R1アンケート調査)	25.8% (R3年5月調査)	25.0% (R4年5月調査)	26.2% (R5年5月調査)	—	32.0%	市民協働課

成果達成に向けた活動指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
住民アンケート等地域住民の意見を反映して地域まちづくり計画策定作業(見直し分)をした地域自治協議会数	6協議会 (R1年度)	7協議会 (R2)	9協議会 (R3)	11協議会 (R4)	—	11協議会	市民協働課
地域の多様な主体・活動をつなぐ対話の場等開催回数	0回/年 (R1年度)	2回/年 (R2)	1回/年 (R3)	2回/年 (R4)	—	4回/年	市民協働課
地域づくりの学びの場開催回数〔再掲〕	5回/年 (R1年度)	6回/年 (R2)	5回/年 (R3)	6回/年 (R4)	—	5回/年	市民協働課

◆誰もが安心して楽しく暮らせるまちづくり

◎一人一人が地域とつながりを持ち安心して自分らしく暮らすことができる地域共生社会の実現

成果指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
区の地域活動に参加した市民の割合(市民アンケート調査) [再掲]	69.7% (R1アンケート調査)	52.6% (R3年5月調査)	45.1% (R4年5月調査)	53.5% (R5年5月調査)	—	75.0%	市民協働課

成果達成に向けた活動指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
あさごいきいき百歳体操実施グループ数	64グループ (H31年3月)	73グループ (R3年3月)	86グループ (R4年3月)	85グループ (R5年3月)	—	80グループ	ふくし相談支援課
地域ミニデイ事業登録グループ数	66グループ (H31年3月)	86グループ (R3年3月)	68グループ (R4年3月)	80グループ (R5年3月)	—	84グループ	ふくし相談支援課
ひきこもり等居場所づくり事業数	0事業 (R1年度)	1事業 (R2)	1事業 (R3)	2事業 (R4)	—	1事業	社会福祉課

◎在住外国人など多様な人が安心して暮らすことができる多文化共生社会の実現

成果指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
国際交流・国内交流など多様な交流が推進されていると感じる市民の割合(市民アンケート調査)	43.6% (R1アンケート調査)	27.5% (R3年5月調査)	31.4% (R4年5月調査)			45.0%	人権推進課
在住外国人と地域とのつながりづくりが進められていると感じる市民の割合(市民アンケート調査)	19.1% (R4アンケート調査)		19.1% (R4年5月調査)	15.5% (R5年5月調査)	新型コロナ感染拡大により、人と人がふれあう機会が制限された。	20.6%	人権推進課
国際交流において多様な文化に触れる機会があると感じる市民の割合(市民アンケート調査)	11.6% (R4アンケート調査)		11.5% (R4年5月調査)	9.0% (R5年5月調査)	新型コロナ感染拡大により、人と人がふれあう機会が制限された。	13.0%	人権推進課

成果達成に向けた活動指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
日本語教室参加者数	32人 (R1年12月)	27人 (R3年3月)	28人 (R4年3月)	25人 (R5年3月)	新型コロナ感染拡大により、人と人がふれあう機会が制限された。	40人	人権推進課
日本語教室ボランティアスタッフ数	22人 (R1年12月)	24人 (R3年3月)	22人 (R4年3月)	18人 (R5年3月)	新型コロナ感染拡大により、人と人がふれあう機会が制限された。	27人	人権推進課

◎誰もが生きがいを感じ健やかで幸せに暮らすことができる健幸づくりの推進

成果指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	変更前	担当課
		R2	R3	R4		目標値(R6)	
65歳以上の要支援・要介護認定率	21.8% (H31年3月)	21.9% (R3年3月)	22.1% (R4年3月)	22.1% (R5年3月)	—	20.0%	高年福祉課

成果達成に向けた活動指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
健幸づくりポイント事業寄附及び交換申請者数	788人/年 (R1年度)	813人/年 (R2年度)	881人/年 (R3年度)	965人/年 (R4年度)	—	1,040人/年	健幸づくり推進課
小学6年生の肥満傾向の出現率(朝来市養護教諭研究会)	男7.7%、女9.4% (R1年度)	男10.3% 女14.7% (R2)	男11.8% 女10.4% (R3)	男11.7% 女12.1% (R4)	新型コロナウイルス感染症による活動制限の影響が考えられる。	男5.0%、女5.0%	学校教育課
あさごいきいき百歳体操実施グループ数〔再掲〕	64グループ (H31年3月)	73グループ (R3年3月)	86グループ (R4年3月)	85グループ (R5年3月)	—	80グループ	ふくし相談支援課
地域ミニデイ事業登録グループ数〔再掲〕	66グループ (H31年3月)	86グループ (R3年3月)	68グループ (R4年3月)	80グループ (R5年3月)	—	84グループ	ふくし相談支援課

◆まちづくりや市民の暮らしを支えるための連携の強化  
 ◎地域間連携・政策間連携などによる効果的・効率的な事業の推進

活動指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
丹波市・福知山市の生活圏 域での連携分野数	4分野 (R1年度)	6分野 (R2)	6分野 (R3)	6分野 (R4)	—	6分野	総合政策課
連携協定大学数	3校 (R1年度)	3校 (R2)	4校 (R3)	5校 (R4)	—	5校	総合政策課

◎持続可能な地域公共交通による安心した暮らしの実現

成果指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
公共交通利用者数(路線バス・コミュニティバス年間利用者数)	234,246人 (H30年度)	177,677人 (R2)	211,596人 (R3)	211,598人 (R4)	新型コロナによる行動制限や人口減少・少子高齢化の進行などにより、利用者数が目標値まで届かなかった。	216,000人	総合政策課

成果達成に向けた活動指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
新たな利用促進事業実施件数	0事業 (R1年度)	1事業 (R2)	2事業(累計) (R2~R3)	5事業(累計) (R2~R4)	—	5事業(累計) (R2~R6年度)	総合政策課
新たな交通手段の導入件数	1事業 (R1年度)	0事業 (R2)	0事業 (R3)	1事業 (R4)	—	2事業(累計) (R2~R6年度)	総合政策課

◎市民の多様な活動や暮らしを支えるための公共施設の適正配置

成果指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
公共施設の延べ床面積	240,258㎡ (H28年度)	231,195㎡ (R2)	230,825㎡ (R3)	230,672㎡ (R4)	—	216,233㎡	総合政策課

成果達成に向けた活動指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
公共施設個別施設計画策定率(対総床面積)	1.3% (H28年度)	100% (R2)	100% (R3)	100% (R4)	—	100.0%	総合政策課
公共施設の有効活用に向けた対話・周知活動数	1件/年 (H30年度)	4件/年 (R2)	1件/年 (R3)	0件/年 (R4)	公共施設に関する計画策定からマネジメントの段階へと進んでおり、総括課として、積極的なワークショップ等の開催は難しい。一方で施設担当課による個別施設に係る利用者への説明等は行われている。	2件/年	総合政策課

◎生物多様性の保全と持続可能な利用による自然共生社会の実現

成果指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
環境にやさしいまちづくりが進められていると感じている市民の割合(市民アンケート調査)	13.1% (R1アンケート調査)	12.5% (R3年5月調査)	17.6% (R4年5月調査)	15.8% (R5年5月調査)	—	15.0%	市民課

成果達成に向けた活動指標	現状値	指標の推移			指標数値が悪化している場合の理由 (目標値達成している場合は除く)	目標値(R6)	担当課
		R2	R3	R4			
地域・学校等での環境学習の開催回数	42回/年 (H30年度)	47回/年	46回/年	50回/年	—	53回/年	市民課
コウノトリ育む農法等環境保全型農業耕作面積	80ha (H30年度)	60ha (R2)	73ha (R3)	75ha (R4)	—	150ha	農林振興課
オオサンショウウオを学ぶ出前講座回数	3回/年 (R1年度)	3回/年 (R2)	0回/年 (R3)	15回/年 (R4)	—	5回/年	文化財課